

## 学部の3つのポリシー（現行の3つ（薄墨色）と、カリキュラム・ポリシー追加案（黒色））

### ディプロマ・ポリシー

- 経営学・経済学分野における知識を体系的に学び、複雑化する現代社会を複眼的な視点で捉えることができる。
- その専門性を自己存在や社会・文化および自然に関する学びと関連させて深め、より総合的に把握された理解へと進展させることができる。
- 社会生活を営むうえで必要なコミュニケーションや情報リテラシー等の技能を身につけるとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、自己を律し他者と協働して、地域社会の発展のために積極的に関わることができる。
- 得られた知識や技能を活用して、みずからの課題を発見し解決しようとする姿勢を保持し、自分自身の生き方の根源を見つめつつ、生きることが学ぶことであるかのように、生涯にわたって学びをつづけることができる。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

- 多くのことを教えずぎない。「経営経済の専門性をもった教養人を育成する」という本学の教育目標を4年間で効率的に実現するため、また学生が集中して学べるように、教えるべき科目を厳選する。
- 教えるべきことは徹底的に教える。教育目標の実現をめざして、厳選した一つひとつの科目および関連する科目群については徹底して教える。
- 常になぜかの問いを発し、自分の頭で考えるための知識訓練とそこからの創造性を育む。広い視野を醸成し、問題意識を発展させられるような学びの機会を提供する。

**カリキュラム・ポリシー（実施方針）**：（紙面の少ない大学案内パンフレットには直接載せずに QR コードのみとし、HP に詳細版を載せて QR コード経由で見せよう。）

- ・人材育成モデルに基づいて科目を厳選し、1 年次から段階を踏んで基礎・基幹・展開科目群を配置する。（DP1 に対応）
- ・1 年次秋から教養科目群を配置し、人文科学、社会科学、自然科学の3分野全ての教養科目から、まんべんなく履修することを求め、深い人間理解と、広い視野からの複合的で柔軟な思考を養う。（DP2 に対応）
- ・グローバル化・情報化社会に対応した「外国語」「コミュニケーション」「情報」に関する科目を、1、2 年次を中心に配置する。（DP3 に対応）
- ・少人数の演習科目を配置し、より専門的な知見を深めるとともに、自らの課題を発見し解決するトレーニングをおこなう。（DP4 に対応）
- ・将来にわたるキャリア形成に必要な知識と態度を身につけるためのキャリア教育科目を全学科共通として配置する。（DP4 に対応）

### アドミッション・ポリシー

- 「経営経済の専門性をもった教養人の育成」という本学の教育理念、教育目標に合致した学生を受け入れる。
- 受験学力よりも、入学後の学修に必要な主要教科の基礎学力を備えていると同時に、入学後の学修に関する問題意識をもち、厳しい修練に耐え抜く強い意志と自己管理能力をもった学生を受け入れる。
- 学力だけではなく多様な観点から入学者を選抜するが、総合型選抜Ⅱ期を除くすべての入学者に、大学入学共通テストの受験と成績表の提出を義務付ける。
- 学校推薦型選抜については、本学の教育課程を支える GPA データ等に基づく選抜基準によって、入学を許可する。
- 長寿社会と高度知識基盤社会の要請に応えるため、編入学の学力検査によって入学を許可する。
- 海外帰国子女ならびに社会人及び外国人留学生については、学力に関する特別選抜によって入学を許可する。

## 各学科の育成する人材像（学位授与方針・教育課程編成・実施方針）

### （太字は選抜要項と違う部分：統一が必要）

カリキュラム・ポリシーでは、語尾が「人材を養成するための履修モデルに基づき科目を配置する。」となる。

#### 経営学科

- ・市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材
- ・組織と個人の**関わり合い**や、組織における**複雑な**人間関係の問題に焦点をあてながら、**多人数の協働を確立**し、維持・発展できる人材
- ・会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる人材

#### 経済学科

- ・**金融、証券**の専門知識をもとに、ファイナンスの問題を解決できる人材
- ・行政や非民間部門における政策分析を行う能力を**もつ**とともに、プロとしての**評価や判断が的確**にできる人材
- ・**企業経営、地域経済、国際経済**などのさまざまなレベルで生起する経済問題を分析する能力をもち、それを解決できる人材

#### 地域みらい学科

- ・地域の**基幹産業や地場産業**等の**経済活動領域**において、**新たな事業を創造**し、複合事業の開拓を目指す、地域ビジネスの起業家、リーダーとなる人材
- ・自治体、**社会的企業、NPO**等の**公共活動領域**において、**ビジネス感覚に満ちた政策立案、実行、新たな組織運営**を目指す、**地域行政、地域コミュニティ推進のリーダー**となる人材

## 2018(平成30)年度 青森公立大学に対する大学評価(認証評価)結果

## 1. 判定

適 合 (認定期間 2019年4月1日～2026年3月31日)

## 2. 認定及び提言 (評定スケール：S・A・B・C)

章		評定	提 言
1	理念・目的	A	無し
2	内部質保証	A	無し
3	教育研究組織	A	無し
4	教育課程・学習成果	B	改善課題 1) 経営経済学部及び経営経済学研究科博士前期課程・博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針に教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方を示していないため、学位授与方針の内容を具体的に反映するよう改善が求められる。
			※対応：今後検討のうえ、ホームページ等へ明記する。
			改善課題 2) 経営経済学部において、GPAや卒業アンケート、資格試験の結果を用いて学習成果の測定に努めているが、これらを用いて、学位授与方針に示した学習成果を十分に把握できているとはいいがたいため、改善が求められる。
			※対応：今後検討のうえ、改善を行う。
5	学生の受入れ	B	改善課題 1) 経営経済学研究科博士前期課程では、収容定員に対する在籍学生数比率について、0.38と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善することが求められる。
			※対応：大学院博士前期課程の入学定員を8名から4名へ変更することを理事会で決議し、2019年3月に文部科学省へ届出する。
6	教員・教員組織	B	改善課題 1) 大学院として固有のFDが行われていないため、適切にこれを実施するよう改善が求められる。
			※対応：2019年1月23日に大学院固有のFDを開催した。

7	学生支援	S	<p>長 所</p> <p>1) キャリア支援について、「キャリアセンター」を中心に、教員も積極的に関与しながら企業訪問や就職情報サービス企業の担当者との情報交換を細やかに行うとともに、学生が地元企業や公的機関等を訪問するバスツアーの実施・拡充に努めているほか、『就活ハンドブック』の発行、就職ガイダンス、保護者への情報提供等を大学が主体的に行っている。こうした取り組みにより、就職率が向上していること、地元及び東北や北海道への就職者の割合が近年高い水準を維持していることから地域貢献にも結びつくなど理念に沿った結果が現れており、評価できる。</p>
8	教育研究等環境	A	無し
9	社会連携・社会貢献	S	<p>長 所</p> <p>1) 大学による継続的な社会貢献や地域みらい学科の学生によるフィールドリサーチ等から自治体との連携が進み、佐井村においては、各家庭にニュース・警報・お知らせの配信、安否確認可能な機能等のある情報端末機器を設置し、学生によるその後の利用状況ヒアリング調査や訪問調査等を行っている。他の自治体からの大学側へ連携協定の申込みも増え、各自治体との双方向的な連携協定が長期にわたって行われている。また、連携協定を締結している県内自治体へ学生が赴き、地域住民とともに調査・企画立案した特産品を集めた物産品店を通じて、各地域のPRを図る「まるっとよいどころ祭り」は、現在では大学主催となり、学生が企画に参加することで大学と市民をつなぐ青森市の一大イベントに成長しており、評価できる。</p>
10	大学運営	A	無し
	財務	A	無し

## 青森公立大学に対する大学評価(認証評価)結果 評価一覧表

評価実施年度:2018(平成30)年度

基準		評定
1	理念・目的	A
2	内部質保証	A
3	教育研究組織	A
4	教育課程・ 学習成果	B
5	学生の受け入れ	B
6	教員・教員組織	B
7	学生支援	S
8	教育研究等環境	A
9	社会連携・ 社会貢献	S
10 (1)	大学運営・財務 (大学運営)	A
10 (2)	大学運営・財務 (財務)	A

### 《評定基準》

- S** 大学基準に照らして極めて良好な状態にあり、理念・目的を実現する取り組みが卓越した水準にある。
- A** 大学基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的を実現する取り組みが概ね適切である。
- B** 大学基準に照らして軽度な問題があり、理念・目的の実現に向けてさらなる努力が求められる。
- C** 大学基準に照らして重度な問題があり、理念・目的の実現に向けて抜本的な改善が求められる。

※ 基準1「理念・目的」において、上記の評定基準を適用する場合は、「理念・目的を実現する取り組みが……」又は「理念・目的の実現に……」の部分は問わない。